

危険物新聞

第 481 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会
編集 松 村 光 惟
発行人大阪市西区新町1丁目5-7
四つ橋ビル
TEL (531) 9717・5910
定価 1部 60円

平成6年の新春を迎えて

(財)大阪府危険物安全協会

理事長 鴻野 眞 太 郎

平成6年の輝しい新春を迎え、会員の皆様にご謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、北海道南西沖地震により奥尻町では死者201名、行方不明30名を数え、その損害は計り知れない大災害となりました。また、冷夏によるコメを中心に農作物の不作、さらに鹿児島県の豪雨禍、続いて台風13号の上陸で合わせて死者不明115名の犠牲者が発生し、新たに天災の恐ろしさを感じ知らされたところであります。

一方、国内の経済状況は極めて深刻化し、景気回復の兆しは見えず、加えて政治は、政権の交代にともない細川連立内閣が誕生し、政界は諸問題を拘え激動しております。

このように昨年は、明るい話題は少なく、どれを取っても厳しい1年であったように思われます。会員の皆様方にはこの国内状況下にありまして、特に不況対策には、事業の合理化、新分野の開発等鋭意努力を重ねられ、そのご苦勞の中で、災害のない安全な街づくりのため多大な貢献をなされて来られたことに対し、心より敬意を表するものであります。

さて、ご承知のとおり、近年私ども社会をとりまく環境は、複雑多様化し複合的な都市災害の危険性が潜在しており地域住民に大きな不安を与えているところであります。

昨年大阪では大きな事故は無かったものの、愛媛県新居浜市の化学工場爆発で4名の死傷者が出る惨事が発生したほか、岡山県のタンクローリーの民家突入炎上事故、福島県での屋外タンク大量油流出事故等々危険物に起因する事故が頻発しております。このような状況の中において、事故の無い安全な環境づくりには、各事業所が危険物災害の発生原因を究明し、安全管理、設備の点検保全、危険物取扱者教育、防災訓練等の重要性を再認識し企業挙げての保安体制の確立を図ることにあろうかと存じます。

当協会にありましては、現諸状況を充分踏まえたうえ、これ等に反映出来る効果的な事業を各関係機関のご指導ご協力を得ながら企画推進して参りました。

昨年主な事業として、6月には大阪府と共催のもと、大阪府危険物安全大会を、浅野消防庁長官と安藤危険物規制課長をお迎えし、府下消防長をはじめ消防関係者、危険物事業所など約350名のご出席を得て、記念式典及び安藤課長による記念講演をいただき、意義ある大会を開催することが出来、更に昨年は、本会年次大会を同日引き続き行ない、実り多きものとなりました。また保安講習と予備講習につきましては、不況と受講料の改正、その他の要素が加わりいづれも当初計画数より減少の傾向が見られ、新たな課題として各講習について検討を余儀なくされて来ております。

しかし、危険物に関する講演会、研修会、論文募集、点検技術者講習等の事業は、着実に実施することが出来ました。このことは、偏に各関係機関のご支援とご理解の賜ものと心より感謝を申し上げる次第であります。

大阪は、本年9月に関西新国際空港開港を控え国際都市大阪へと躍進しようとしておりますが、反面難問も少なからず存在し、これ等の問題を一つ一つ着実に克服し、希望と活気に溢れた真の国際文化都市大阪、作りのため我々協会も何らかの貢献をしたいと願っております。

1994年、新しい年を迎えるにあたり私共役員はもとより職員一同与えられた責務を全うし更に奮励努力して参りたく、心新たにしているところであります。

どうか本年も旧年にも増して、ご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。



年頭のごあいさつ

大阪府知事 中川 和雄

新年明けましておめでとうございます。

今年は大阪にとりまして、長く念願であった関西国際空港がいよいよ開港する年であり、世界都市OSAKAの実現に向けて本格的な一歩を踏み出す年であります。

こうした空港開港の弾みをさらに効果的なものとするためには、空港関連の地域整備をはじめ、さまざまな事業を着実に展開していく必要があります。何時でも自然体でサミットや国際会議を開催することができる国際会議場や国際プレスセンターなど、世界都市にふさわしい受け皿づくりも急ぎたいと考えています。

一番機が飛び立つ日、それは大阪のみならず世界の人が心待ちする日と申せます。大阪府におきましても環太平洋ヨットレースや海の祭典を開催するほか、この二月に予定されている泉州国際市民マラソンをはじめ、地元と一体となり開港をお祝いするとともに、これを契機に内外に関西・大阪をアピールしてまいりたいと考えています。

さらに、関西国際空港はアジア・太平洋地域のハブ空港を目指しています。そのためには安全性・利便性・快適性などの視点に立ち、滑走路を三本にする全体構想の実現が何よりも大切であります。関西国際空港全体構想推進協議会を中心に地元としても知恵を絞り、全体構想が一日も早く実現するよう全力を尽くしてまいる所存であります。

同時に、目前にせまった二十一世紀にふさわしい新しい大阪を創るために「時代対応型」から「時代先導型」への府政の転換をはかり、大阪湾ベイエリア開発をはじめ、関西文化学術研究都市や国際文化公園都市など、新しい時代を見据えた大阪づくりに邁進してきたところであります。

さらに昨年は、全市町村で公共下水道が着工されましたが、こうした都市基盤整備だけではなく、青少年健全育成条例（ポルノコミック規制強化）やゴールドプランの推進など、新しいシステムづくりにも意を注いできたところであります。とりわけ、昨年四月に全国に先駆けて施行した「福祉のまちづくり条例」は、全国的に大きな反響を呼び、今では全国の半分以上の府県で条例づくりが検討され、国における法制定の動きにまでなっています。このような大阪の先導的な取り組みが全国に拡がることとなり、大変喜ばしいことだと思っています。

今年は「家族から始まる小さなデモクラシー」をテーマ

とする国連の「国際家族年」であり、子供からお年寄りまで、家族を構成する全ての人権が尊重される社会づくりが強調されています。昨年は乳幼児入院医療費助成やアレルギー・アトピー疾患対策を盛り込んだ「夢っ子プラン」を策定したところであり、今年には子供の健全育成を目指した「子ども総合ビジョン」の策定を急ぎたいと考えています。さらに、明るい長寿社会の実現に向けた「老人保健福祉計画」や障害を持つ人の社会参加を促進するための「障害者対策に関する第二次大阪府長期計画」の策定も急ぎたいと存じます。

今日、高齢化や少子化、核家族化、女性の社会進出などが進展する中で、家族を取り巻く社会環境は大きく変貌しつつありますが、この機会に改めて「家族」の視点から地域や社会システムの在り方をとらえ、誰もが暮らしやすく、明るく健康な大阪づくりをすすめてまいりたいと存じます。

最後に、現下の戦時最悪といわれる平成不況の中で、経済面での大阪は依然厳しい状況にありますが、一方では平成四年度の府内総生産は四十兆二百六十六億円に上り、オランダやオーストラリアなどの先進国一に匹敵する経済規模を誇っています。大阪の景気浮揚対策については、今後とも大阪経済の底力を信じつつ、適切な景気浮揚対策を講じてまいりたいと存じます。あわせて、付加価値の大きな新しい産業への転換等、大阪産業の構造改革の推進に積極的に取り組んでまいります。

今年は、私にとりましても任期四年の節目の年であります。今後の府政運営に際しては、知事就任時の所信表明で明らかにした《「福祉都市・大阪」、「環境都市・大阪」、「世界都市・大阪」》の三つの目標に即して、より積極的な府政運営に努めていく所存であります。いま一度行政の原点に立ち返り、「安全と安心、信頼の府政」をモットーに時代を先取りし、バランスのとれた府政推進に取り組んでまいりたいと存じます。

平成九年に予定されている「なみはや国体」のスローガンでもあります「おおさかふれ愛夢づくり」を合言葉に、府民の皆さんに新しい大阪づくりを呼びかけているところでありますが、今後とも府政の推進に関しまして皆様方のより一層のご理解・ご支援をお願いする次第であります。



新年のごあいさつ

大阪府下消防長会

会長 新堂 衛

平成6年の輝かしい新春を迎え謹んで新年のおよこびを申し上げます。

会員の皆様方には、府下消防行政の各般にわたり深いご理解と暖かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、近年、建築物の大規模化・高層化・深層化が進み、加えて技術革新の進展等により、産業界では施設、設備の自動化、省力化が図られるなど、生産工程等が大きく変貌し、また、高齢化社会が進み社会構造全体が大きく変革しているところであります。

これらの変化に伴い災害の様相も複雑化、多様化の傾向にあり、常に大災害に発展する潜在的危険性をはらんでいます。

このような状況の中、昨年1月の釧路沖、7月の北海道南西沖と連続した地震により、危険物施設も被害を受け、屋外タンク貯蔵所の損壊、不等沈下あるいは危険物等の流出事故等が発生しました。また同じ7月には愛媛県で樹脂製造プラント工場の爆発火災が発生したほか、各地で相変わらず危険物災害が頻発し、多くの尊い人命や財産が失われ、住民生活を不安におとし入れており、今後の危険物災害の防災対策に多くの課題や教訓を提起しております。

幸い大阪府下におきまして昨年は、大きな災害もなく比較的平穩に推移しております。これは皆様方の防災に対する認識の深さと素素のご努力の賜ものと深く感謝を申し上げます。

今後、新たな危険物品の出現に加え、生産工程の多様化、流通形態及び石油事情の変化その他市民生活における危険物利用の増加等、災害発生の危険性はますます高まると予想されます。特に危険物災害は、発生事業所はいうまでもなく、周辺住民をも巻き込む地域的な大災害に拡大する可能性が高く、その被害は人的にも、物的にも甚大なものとなることは過去の災害事例からも明らかであります。

もとより危険物災害の防止は、施設や設備の充実等のハード面と、安全管理体制の充実等のソフト面の両面から進めなければならないものであります。ハード面につきましては危険物関係法令の改正により整備が図られ、今後は、自主保安体制の整備や作業マニュアルの作成・遵守の徹底等いわゆるソフト面の充実が望まれるところであります。

大阪府下消防長会といたしましても、このソフト面の充

実強化を最重要課題として取り組んでいるところであります。このほか、地球環境問題への対応として、ハロン消火薬剤の使用抑制や、科学技術及び産業経済の進歩に伴う規制緩和の一環として移動タンク貯蔵所の大規模化、強化プラスチック製二重殻タンクの導入等に対する安全基準の研究、高齢者等の安全確保や国際化の進展に伴う外国人の火災救急対策等、時代の変化に対応するための各課題が山積しております。

本年9月には関西国際空港がオープンし、また関西文化学術研究都市の建設、大阪湾ベイエリア開発の推進等ビッグプロジェクトが進んでおり、国際都市として変貌してきています。その前提として快適で安全な街づくりが何よりも重要であります。我々といたしましても府民の安全を確保し、大阪を住みよい安全な街とするため万全を期す所存でございます。皆様方におかれましても、地域社会の安全確保の重要性をご認識いただき、事業所のより一層の自主保安体制の充実と災害の未然防止に特段のご尽力をいただきますようお願い申し上げます。

皆様方の事業のご隆盛と会員各位のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

謹んで新年の お慶びを申し上げます

本年もよろしくご指導
いただきますようお願い申
上げます。

平成6年元旦

(財)大阪府危険物安全協会
理事長 鴻野 眞太郎
役員、職員一同



新春を迎えて

(財)全国危険物安全協会

理事長 福島 深

平成6年の新春を迎え、謹んで年頭のお慶びを申し上げます。

大阪府危険物安全協会会員の皆様方におかれましては、平素から危険物保安管理の最前線において、その使命を深く認識され、危険物取扱者の指導・育成及び危険物に係わる安全管理にご尽力をいただいておりますことに対して深く敬意と感謝を申し上げます。

昨年を顧みますと、長梅雨、冷夏、地震等の自然災害に悩まされた年であり、天候不順による農作物への悪影響に加え、九州地方を中心とした土砂災害、また、北海道南西沖地震では、奥尻島の津波と火災により尊い人命が失われる災害など、まだ記憶に新しいところであります。

こと、危険物関係に眼を転じてみますと、大阪府下では大きな事故は無かったと思えますが、全国的に見てみますと残念ながら平穏な一年とは言いがたい年でありました。

大きな事故事例としては、7月には愛媛県の危険物製造所において、特殊エポキシ樹脂製造工程中のプラントから可燃性蒸気が噴出、爆発した際に死傷者の発生した事故があります。また、特異なものとしては、5月に神奈川県危険物屋外タンク貯蔵所のスロップオイルタンクが亀裂・損傷し、タンク内から漏油した事故や11月には、兵庫県内の中国自動車道を走行中の牽引式大型移動タンクが道路管理作業車に衝突、中央分離帯に乗り上げて横転したため連結部付近から出火炎上した事故また茨城県内の大型移動タンク横転に起因した火災事故等が挙げられると思えます。

申し上げるまでもなく、危険物は、我々の生活に欠かすことのできないものの一つであります。ひとたび事故が起これば、その被害が社会に与える影響は計り知れない要因を含んでおります。

しかしながら、危険物災害の多くは人的被害、言い換えれば危険物を取り扱う人のちょっとした不注意や慣れで引き起こすことが多いことも事実であり日頃の管理や点検の重要性が常に叫ばれておる所以であります。

当然のことながら、危険物災害を未然に防ぐということは我々危険物取扱いに携わる者に課せられた使命であり、今後さらに複雑多岐となる管理・取扱いを適切に対応できることが、重要なこととなってまいります。

どうかこの新しい年の出発を機に、皆様方には過去の事故の教訓を生かしていただき、災害のない安全な都市づくりにも邁進されますようお願い申し上げます。

本年も当協会といたしましては、消防庁をはじめとする関係諸機関のご指導を得ながら、会員の皆様方のご理解とご協力をいただきまして更なる事業の充実を目指して協会役員一同なお一層の結束を固めて、危険物の安全確保のために最善の努力をいたす所存であります。

おわりにあたり、本年が災害のない平穏な年となり、併せまして大阪府危険物安全協会会員皆みな様方の益々のご発展とご健勝を心から祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

迎 春

大阪市危険物安全協会
豊能町防火協会
箕面市防火協会
池田市消防協会
豊中防火安全協会
島本町火災予防協会
高槻市火災予防協会
茨木市災害予防協会
吹田市危険物安全協会
摂津市防火安全協会

枚方市・寝屋川市
防火協会連絡協議会
交野市火災予防協会
四条畷市防火協会
守口・門真防火協会
大東市火災予防協会
東大阪市防火協会連絡協議会
八尾火災予防協会
柏・羽・藤火災予防協会
松原市火災予防協会
富田林市防火協会

河内長野市防火協会
美原町防火協会
大阪狭山市防火協会
堺市・高石市防災協会連合会
泉大津市火災予防協会
忠岡町防火協力会
岸和田市火災予防協会
貝塚市火災予防協会
泉佐野市火災予防協会
泉南市火災予防協会



平成6年度

全国危険物 安全週間

キャンペーン標語募集

危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進するため、毎年6月の第2週は全国一斉に危険物安全週間とされている。

そこで、消防庁、地方公共団体、全国消防長会並びに(財)全国危険物安全協会では、次により推進キャンペーン標語を募集しているので応募されたい。

- 〈応募方法〉・ハガキ1枚につき、標語を1つ記入。
(未発表のものに限る)
- ・応募者の住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、電話番号を記入のこと。
- 〈締切〉平成6年1月31日(月)(当日着まで有効)
- 〈あて先〉〒105 東京都港区虎ノ門2-9-16 日本消防会館5階 (財)全国危険物安全協会内
危険物安全週間推進協議会宛
(☎03-3597-8393)

- 〈表彰等〉・最優秀作
(消防庁長官賞と副賞20万円)
- ・優秀作
(全危協理事長賞と副賞10万円)
- ・優良作
(1万円相当の記念品)
- [入選作品の著作権は、主催者に帰属します。]
- ※なお、詳細については 本会(06-531-9717)に連絡されたい。

ヤマト消火器株式会社が社名を変更し、
ヤマトプロテック株式会社として、
大きく、はばたいています。
今後ともよろしくお願ひいたします。



ヤマトプロテック株式会社

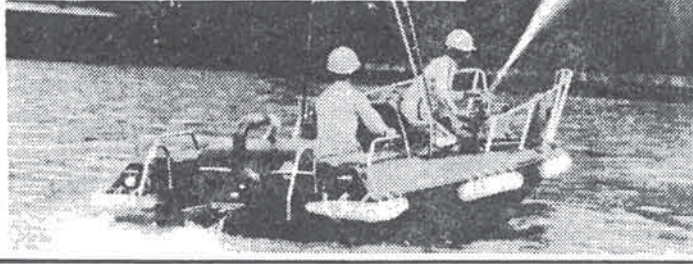
東京本社 〒109 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)446-7151(代)
本社 〒537 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.(06)976-0701(代)

■営業品目 ■ ビル防災設備/プラント防災設備/遊覧・警報設備/家庭用防災機器/各種防災機器/各種消火器
名古屋・札幌・仙台・新潟・大宮・八王子・千葉・横浜・静岡・富山・神戸・尾道・広島・松山・福岡・鹿児島/大阪工場

MORITA

森田ポンプ株式会社

本社 〒544 大阪市生野区小路東5丁目5番20号 TEL.06(758)9723



MORITAが誇る
先進の技術を駆使した
ツインジェット推進ポンプ搭載の
小型消防救助艇

第14回 大阪府下論文募集 (締切 平成6年4月8日まで)

安全管理事故対策・体験等について

第14回表記懸賞論文を下記のとおり募集しますのでご応募下さい。

1. 応募資格 府下事業所に勤務する者
2. 募集部門と内容
 - 第1部(製造、取扱い部門) 化学工場等の危険物製造、取扱い部門における防災管理、企業内共同研究、事故体験記録等について
 - 第2部(貯蔵、流通、販売部門) 油槽所、営業危険物倉庫の大量貯蔵部門、タンクローリー等輸送部門、又はガソリンスタンド等の販売部門における安全管理、事故防止対策、事故体験記録等について
 - 第3部(その他) 一般事業所等における危険物の安全管理、事故体験記録等について

※各部とも400字詰原稿用紙(横書き) 10~15枚程度
3. 送り先 〒550 大阪市西区新町1-5-7 四つ橋ビル8F 財大阪府危険物安全協会 論文係宛
4. 切 平成6年4月8日
5. 発表 平成6年5月中旬
6. 表彰
 - ☆優秀賞 1編(賞状と副賞10万円)
各部門の優良作品の中より選出し、6月に行なわれる、大阪府危険物安全大会で表彰します。なお、該当者は部門優良賞の副賞と重複はしません。
 - ☆優良賞 各部門ごと1編(賞状と副賞3万円)
 - ☆佳作 各部門ごと若干(賞状と副賞2万円)

なお、優秀賞、優良賞に該当作品が無い場合は、各部門の優良賞、佳作入選を増やすことがあります。(その他応募者には記念品を贈呈いたします。)
7. その他 入賞作品の著作権は本会に帰属し、作品は返却しません。

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)



株式会社技研

〒530 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎358-9467~8

5年度 後期保安講習日程

◇化学工場関係(1会場)

回数	開催日時(予定)	会場
68	2月10日(木)午後	大阪府商工会館 大阪市

◇その他・一般(9会場)

64	2月3日(木)午後	*堺市民会館 堺市
65	2月7日(月)午後	大阪府商工会館 大阪市
66	2月9日(水)午前	大阪府商工会館 大阪市
67	2月9日(水)午後	大阪府商工会館 大阪市
69	2月14日(月)午後	茨木市商工会議所 茨木市
70	2月15日(火)午後	東大阪・弘容ビル 東大阪市
71	2月16日(水)午後	東大阪・弘容ビル 東大阪市
72	2月17日(木)午後	吹田メッセアター 吹田市
73	2月18日(金)午後	大阪府商工会館 大阪市

注1 受講予約の申込書(指定の往復ハガキ)は、所轄消防署予防係に置いてあります。なお、1月24日より郵送料が50円となります。

注2 講義時間は3時間です。午前の部、午後の部共それぞれ開講時間は、受講票に記載してあります。

平成5年度 第4回危険物取扱者試験

2月13日(日)、府大で

消防試験研究センター大阪府支部では、平成5年度第4回危険物取扱者試験を2月13日(日)、大阪府立大学で次のとおり実施する。

- ▷試験日 2月13日(日)
 - 乙種4類(午前・午後)
 - 甲種、4類以外の乙種、丙種(午後)
- ▷試験会場 大阪府立大学(堺市)
- ▷受付期間 1月20日(木)、21日(金)
- ▷受付場所 大阪府職員会館(府庁本館西側)

予備講習受付は1月10日より

予備講習会は、甲種、乙種4類、丙種について大阪、堺、茨木、枚方など8会場で開催する。

また、受付は1月10日より14日までの間、各受付場所で行なわれる。(8頁参照)



暮らしに安心と安全をお届けする

屋内外消火栓設備
スプリンクラー設備
ドレンチャー設備
泡消火設備
ガス消火設備
粉末消火設備
自動火災報知設備
避難設備

創業30年の実績と経験で信頼いただく
防災のことならサンワにお任せください

あらゆる消防設備・設計・施工・保守・点検

株式会社 三和商会

本社 大阪市西区京町堀2丁目1番17号
〒550 電話(06)443-2456(代)
平野営業所 大阪市平野区長吉出戸2丁目4番6号
〒547 電話(06)707-3341



H&H
初田製作所

HATSUTA

株式会社 初田製作所

大阪本社 〒530 大阪府東淀川区東中津3-5 TEL.0720158-1291(F)
東京本社 〒110 東京都港区芝大門1-10-7 TEL. (03)3461-6841

原点はロスフリーベンションです。



ハツタは、あらゆるセーフティニーズに
おこたえする企業をめざします

頑固な夢が
そこにある。

危険物取扱者予備講習 ご案内

平成5年度第4回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験予備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種 別	講 習 日	時 間	会 場
甲 種	1月17日(月)、1月19日(水)、1月20日(木)	9時30分～16時	大 阪 府 商 工 会 館 (地下鉄本町駅ヨリスグ)
乙 種	1 期	1月17日(月)、1月19日(水)	大 阪 府 商 工 会 館
	2 期	1月25日(火)、1月26日(水)	大 阪 府 商 工 会 館
	3 期	2月1日(火)、2月2日(水)	堺 市 民 会 館 (高野線堺東駅ヨリ8分)
	4 期	1月25日(火)、1月26日(水)	茨 木 市 商 工 会 議 所 (茨木駅ヨリ約13分)
	5 期	1月27日(木)、1月28日(金)	北河内(枚方)府民センター (京阪枚方市駅ヨリ約5分)
類	休日コース	1月15日(祝)、1月16日(日)、1月30日(日)	大 阪 科 学 技 術 セ ン タ ー (地下鉄四ツ橋線本町駅ヨリ5分)
丙 種	2月4日(金)	9時～16時	大 阪 府 商 工 会 館

2. 受付場所と受付日時

- ① 四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内をお願いします。
- ② 各受付場所とも、各講習会場の受付数を割り当てておりますので、満席の節は受け付けできませんからご了承下さい。
- ③ 申込手続は代理でも結構です。

受 付 場 所	日 時
東大阪市西消防署内 (近鉄・小阪駅北へ6分)	東大阪市西防火協会 1月10日(月) 午前10:00～11:30
守口消防署 (地下鉄守口駅前)	守口消防署 1月10日(月) 午後1:30～4:00
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分)	豊中防火安全協会 1月11日(火) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内	茨木市災害予防協会 1月11日(火) 午後1:30～4:00
枚方寝屋川消防本部内	枚方市・寝屋川市防火協会 1月12日(水) 午後1:30～4:00
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会 1月12日(水) 午前10:00～正午マデ
	1月13日(木) 午前10:00～12:00 午後1:00～4:00
岸和田市消防本部内	岸和田市火災予防協会 1月14日(金) 午前10:00～11:30
堺市高石市消防本部内 (南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会 1月14日(金) 午後1:30～4:00

3. 休日コースの申込方法

休日コース(定員90名)は電話(06-531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 会 費 (会費には、各テキスト代を含みます) テキスト不要の場合は甲種、乙種 各2,000円減額。(テキストは平成5年度用改訂版を使用)

種 別	会 員	会 員 外
甲 種	15,000円	18,000円
乙 種 4 類	11,000円	13,000円
乙種(休日コース)	15,000円	18,000円
丙 種	5,000円	6,000円